



二之江の子



令和 8 年 1 月 8 日
江戸川区立二之江小学校
第 9 号

午年に願いを込めて

校長 大石 吉郎

新年あけましておめでとうございます。

2026年がスタートしました。葛西臨海公園では、初日の出を見ようとする多くの人たちの様子が報道されている中、富士山も映し出されていました。

右の写真は、本校の3階から見える富士山です。昨年度の卒業生が、冬になると3階から富士山が見えることを教えてくれました。3学期も一日でも多く富士山が見えることを楽しみにしたいと思っています。



1月は、親族が集まって仲睦まじく過ごすことから睦月（むつき）という異称の由来があります。各ご家庭におかれましても、この機会を大切に過ごされたことと思います。

さて、今年は十干で「丙」（ひのえ）と、十二支で「午」、干支は「丙午」（ひのえ・うま）にあたります。「丙」は十干では3番目にあたり、「火」の要素をもち、太陽や明るさ、生命のエネルギーを表すとされています。また、「午」は古くから人間とともに生きてきた動物です。駿足で、独立心が強く、人を助けてくれる存在でもあります。そのため「丙午」（ひのえ・うま）の年は「勢いとエネルギーに満ちて、活動的になる年」と考えられます。

「版画 のはらうたⅢ（童話屋）」

かけぬける

じかんの なかを

「はじめて」のように

こうまは いつも

ほし まきちらし

なびく たてがみ

くも わきおこり

はしるひづめに

こうま やつ

しゅっぱつ

今年も、くどうなおこさんの詩集「版画 のはらうたⅢ」から詩を紹介します。

「のはらうた」は、野原に住む生き物たちの代理人として、くどうさんがうたっている詩です。

版画版は、野原の仲間たちが版画になって登場します。今回の作者「こうま さとし」さんは、「しゅっぱつ」という詩で初登場します。詩集には、馬に羽が生えたペガサスの版画が描かれています。

「はしるひづめ」からくもがわきおこり、「なびくたてがみ」がほしをまきちらすほどの勢いで、しゅっぱつしていくさまを表しています。そして、しゅっぱつのときはいつも「はじめて」のように、のところがとても素晴らしいと感じてしまいます。「勢いとエネルギーに満ちて、活動的になる年」にするためには、「しゅっぱつ」の詩にある、いつも「はじめて」のように、じかんのなかを駆けぬける気持ちを大切にしながら、学校生活を過ごして

いってほしいと願っています。そして、子供たちの成長をさらに楽しみにしています。

「午年」も本校の子供たちの夢や目標に向けて、全教職員が一丸となって取り組んでまいります。本年も保護者の皆様、地域の皆様からの引き続きのご支援ご協力をいただきますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

研究発表会のお知らせ

本校で、東京都小学校書写研究会の研究発表会を2月10日（火）に開催します。本研究会では、書写教育の充実を図るために研究実践を積み重ねてきています。

当日は、1年1組、4年1組、6年1組の3クラスにおいて、研究授業が行われます。この日は、本研究会の研究委員（他校の先生方）が授業を行います。詳細につきましては、後日お知らせいたします。

「子供の心が揺れた時にできること」

養護教諭 岡田 円

子供たちは成長の途中で、気持ちが大きく揺れ動く時期を経験します。学校でも、ちょっとしたことで涙が出たり、イライラが抑えられなかったり、気分の切り替えが難しい様子が見られることがあります。こうした反応は、心が育っている途中であることの自然な表れです。

気持ちが高ぶったときに役立つのが、いわゆる「アンガーマネジメント」の考え方です。怒りや不安が強くなったときには、まずその場から少し離れる、深呼吸をする、10秒数えるなど、気持ちを落ち着けるための“間”をつくるのが効果的です。大人が普段からこうした方法を言葉にして伝えておくと、子供自身が感情をコントロールしやすくなります。

また、気持ちを落ち着けるためには、自分の感情を言葉にすることも大切です。「悲しかった」「悔しかった」など、気持ちに名前をつけることで、子供は自分の心を客観的に見つめやすくなります。ご家庭で「そう感じたんだね」と受け止めていただけると、子供は安心して気持ちを整理することができます。

さらに、物事の見方・捉え方を変える「リフレーミング」も、心の安定に役立ちます。例えば、「慎重で時間がかかる」という特徴を「ていねいに取り組める力」と捉え直す。「負けず嫌い」を「最後まであきらめない強さ」と見てみるなど、視点を変えることで子供は自分の良さに気づきやすくなります。大人の一言が、子供の心の柔軟さや前向きさを育てるきっかけになります。

学校でも、子供たちが自分の気持ちを安心して表現できるよう、日々の関わりを通してサポートしています。

ご家庭と学校と一緒に子供たちの心の成長を見守ることで、子供たちは少しずつ、自分の気持ちと上手に付き合う力を身に付けていきます。

1 月行事予定

8日(木) 始業式(朝会含む)
C時程4時間授業(12:20下校)

9日(金) よむYOMUタイム 給食始

12日(月) 成人の日(休業日)

13日(火) 身体測定(1~3年) SC来校
江戸川っ子study week(~19日)
あいさつ週間・エールウィーク(~23日)
持久走月間始(~22日)
そろばん教室(3年)

14日(水) 生活指導 身体測定(4~6年)
そろばん教室(3年)

15日(木) 避難訓練(登校直後)
委員会(5・6年)

16日(金) 全校朝会

19日(月) よむYOMUタイム たてわり班活動

20日(火) 研究授業(5年1組) 心理士巡回
5年1組以外4時間授業
(13:20下校)

21日(水) 安全指導
避難訓練(登校直後) 予備日

22日(木) 音楽集会 クラブ(4~6年)

23日(金) 全校朝会
ウィンタースクール前検診(5年)
13:30~

25日(日) ウィンタースクール1日目(5年)

26日(月) ウィンタースクール2日目(5年)

27日(火) ウィンタースクール3日目(5年)
給食試食会
連合展覧会(特別支援学級)1日目
(わかくさ2~4年は5時間授業
わかくさ5・6年は6時間授業)
バイキング給食(1年) SC来校

28日(水) 給食指導 5年生振替休業日
連合展覧会(特別支援学級)2日目

29日(木) よむYOMUタイム
連合展覧会(特別支援学級)3日目
わかくさ学級お別れ遠足

30日(金) 連合展覧会(特別支援学級)4日目
江戸川区書き初め展

31日(土) 熱気球体験